

# 夢は挑戦し進み続けて

## 長澤さん語りかける

### 津山商業高 卒業生招き記念講演

戦してほしいし、進み一続ければ必ず道は開ける。

生徒会長の3年・松本望美さん（17）は「人との出会いが最も大切」という言葉が心に響いた。頑張ればいい出会いにめぐり逢えるのだと思う」と話した。同校では、課題を見つめる力などを養ってもらおうと毎年、創立記念日に講演会を行っている。

津山商業高校は創立98周年を迎えた14日、記念講演会を同校（山北）で開いた。昭和58年卒でシェフやソムリエとして活躍する長澤宜久さん（54）＝美作市出身、東京都在住＝が「志を胸に努力し続ける『自強（きょう）』の精神」をもつてほしい」と語りかけた。

長澤さんは、平成3年にフランスにわたって修業を積み、25年から、都内を中心にレストランなど約10店舗を経営するブルーノート・ジャパンの総料理長・長澤さん

卒業後は経理の学校に行くなどしたが、「しつこく煮え切らなかった」と回想。バイトの中で楽しさを感じたのをきっかけに料理の道に進み、苦勞は多かったが、校長がよく口づけていた校訓「自強」は常に心の中にあっただろう。『歩みを止めない』という意味があるのが校訓の好きどころ。夢は挑

「自強の精神をもって」と呼びかける卒業生の長澤さん

